

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立三軒家西小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	大正区
学 校 名	大阪市立三軒家西小学校
学 校 長 名	前谷 さき子

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立三軒家西小学校では、第6学年 31名

令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立三軒家西小学校の結果概要

○国語科・算数科ともに、平均正答率が全国平均を下回る結果となった。

（対全国比：国語－12.9、算数－5.4）

○国語科では、必要な情報を見付ける問題や、表現の工夫とその効果を捉える問題で全国との差が大きい。（対全国比：－29.7、－26.5）その反面、自分の経験と結び付けて考えを書く問題では、全国を上回っている。（対全国比：＋4.2）

○算数科では、立体を構成する面の辺の長さを捉える問題や、割合からもとにする量を求める問題で全国との差が大きい。（対全国比：－21.1、－20.8）一方、帯グラフからおよその割合を読み取る問題では、全国を上回っている。（対全国比：＋9.0）

○国語科・算数科ともに、平均無解答率が全国平均よりも低い。（対全国比：国語－1.7、算数－1.6）

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

文章を読んで考えたことを自分の経験と結び付けて書く問題では、全国平均正答率を4.2上回っている。また、全ての書く問題を最後まで書こうと努力した児童の割合は93.5（全国79.3）で、考えを書こうとする姿勢が見られる。一方、目的に応じて必要な情報を見付ける問題（全国比－29.7）や、表現の工夫とその効果を捉える問題（同－26.5）に課題がある。資料を引用して自分の考えを書く問題の正答率も32.3にとどまっており、問いに合う情報を選び、必要な条件を満たして表現する力を育てる必要がある。

【算数】

帯グラフからおよその割合を読み取る問題では、正答率が83.9となり、全国平均の74.9を9.0上回っている。また、分数の大小を判断し、そのわけを書く問題では、正答率が45.2となり、全国平均の44.0をやや上回っている。グラフから情報を読み取ることや、自分の考えた理由を数や言葉を用いて書くことに成果が見られる。一方、立体を構成する面の辺の長さを捉える問題（全国比－21.1）や、割合からもとにする量を求める問題（同－20.8）に課題がある。条件に沿って数量の求め方を数や言葉で説明する問題も全国平均を19.4下回っており、問題を解くために必要な数や条件を確かめ、図や式を使いながら、答えの求め方やその理由を自分の言葉で説明する力を伸ばす必要がある。

質問調査より

- ・「自分にはよいところがある」と肯定的に回答した児童は89.7（全国85.6）、「人の役に立つ人間になりたい」は100（全国95.8）で、自分のよさを認め、人の役に立ちたいと考える児童の割合が高い。
- ・話し合いを通して考えを深めていると肯定的に回答した児童は96.6（全国85.7）、「算数の勉強は好き」は75.9（全国57.6）で、友達と学ぶことや算数の学習に対する肯定的な実感がうかがえる。特に、話し合いを通じた学びの実感には、本校が児童同士の考えのつながりを意識した授業づくりを継続してきた成果が表れていると考えられる。
- ・国語の授業の内容がよく分かると肯定的に回答した児童は86.2（全国81.5）である一方、国語の勉強が得意と肯定的に回答した児童は51.7（全国60.4）にとどまっている。学んだことを生かして自分の力で読んだり書いたりする力を育てるとともに、一人ひとりができるようになったことを実感し、学習への自信をもてるようにすることが課題である。
- ・算数の授業で、どのように考えたのかを説明する活動をよく行っていたと肯定的に回答した児童は89.7（全国63.0）で、自分の考えを説明する学習経験を多くの児童が実感している。一方、教科の調査では、求め方を条件に沿って説明することに課題が見られる。説明し合う活動を生かし、必要な数や条件を確かめながら、答えの求め方やその理由を自分の言葉で説明する力につなげていく必要がある。

今後の取組（アクションプラン）

国語科・算数科の結果から共通して見えてきた課題は、必要な情報や条件を正確に捉え、根拠を明確にして表現することである。そのため、全教員が共通理解のもと、各教科で問いの内容や条件を確かめ、本文や図表をもとに自分の考えやその理由を説明し合う活動の充実を図る。その中で、友達の考えと比べながら説明に必要な内容を確認、話し合いの後に自分の言葉でまとめ直す活動を通して、一人ひとりの理解を深める。

国語科では、目的に応じて必要な情報を選び、選んだ理由を本文に即して説明する活動を取り入れる。また、言葉を変えたときの伝わり方の違いを比べたり、文章の中から自分の考えの理由となる言葉や文を選んで書き、必要な内容が入っているかを確かめたりする指導を充実させる。

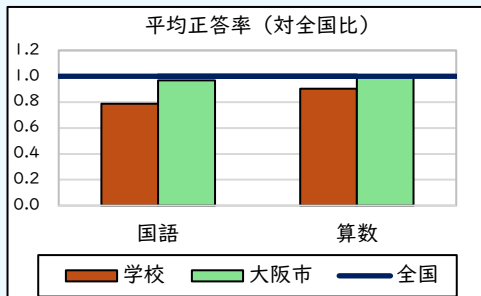
算数科では、具体物・図・式を関連付け、体積や割合などの意味を確かめる学習を重視する。分数の大小を理由とともに書いているよさを生かし、様々な問題でも、必要な数値や条件を確かめ、答えに至る過程を数や言葉で説明する力の育成を図る。

学習の振り返りや小テストなどで一人ひとりのつまずきを把握し、個に応じた指導と支援を行う。また、以前の考えや書いたものと比べて、できるようになったことや説明が分かりやすくなった点を具体的に認め、達成感や自信につなげる。取組後の学習状況を確認、その結果を授業改善に生かす。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

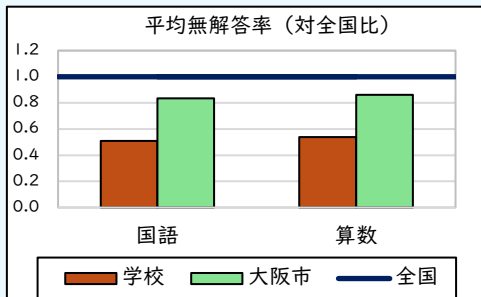
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	48	51
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



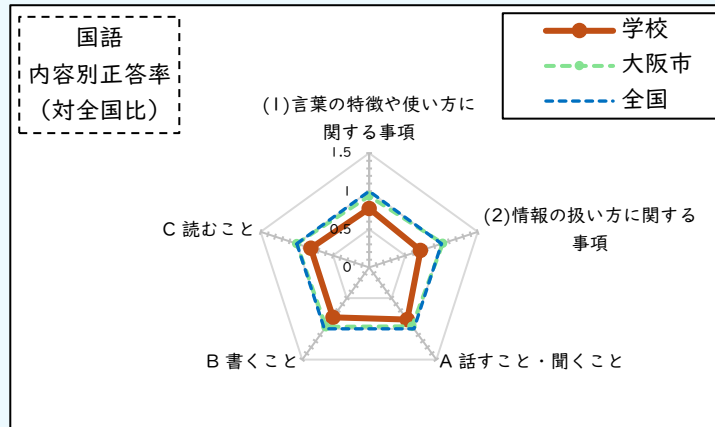
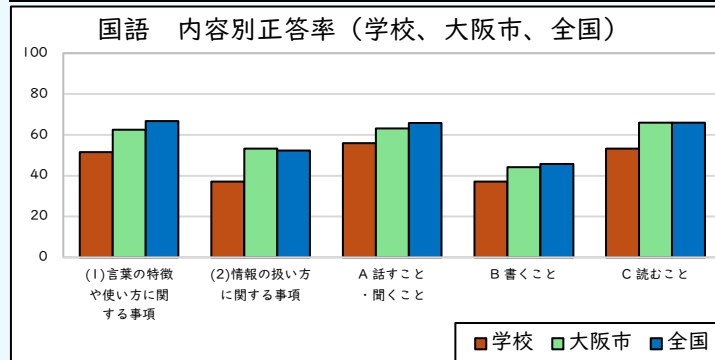
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	1.7	1.7
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



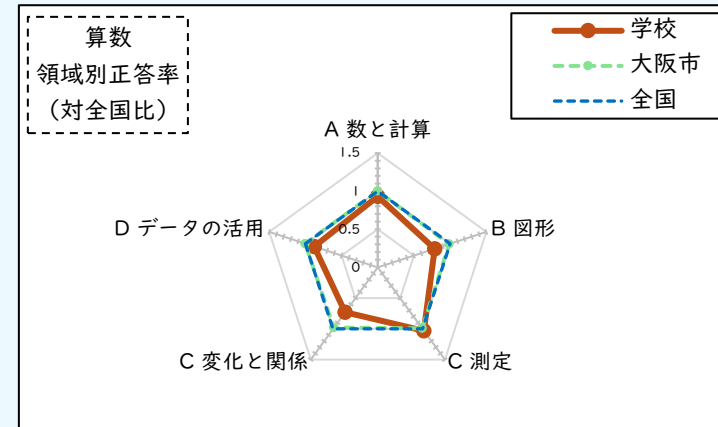
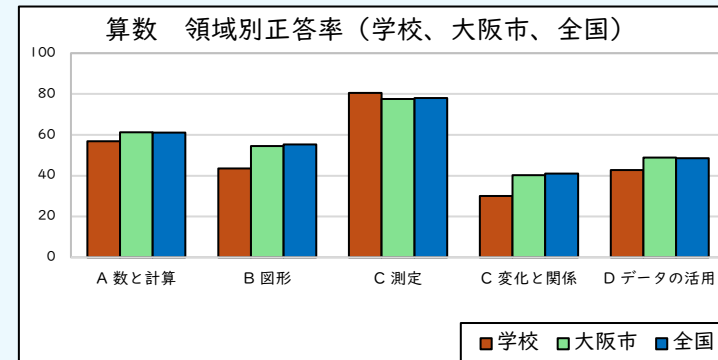
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	4	51.6	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	37.1	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	55.9	63.1	65.8
B 書くこと	2	37.1	44.2	45.7
C 読むこと	2	53.2	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の 領域	対象問題数 （問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	56.9	61.2	61.1
B 図形	4	43.5	54.5	55.3
C 測定	1	80.6	77.5	78.1
C 変化と関係	3	30.1	40.3	41.1
D データの活用	4	42.7	48.8	48.6



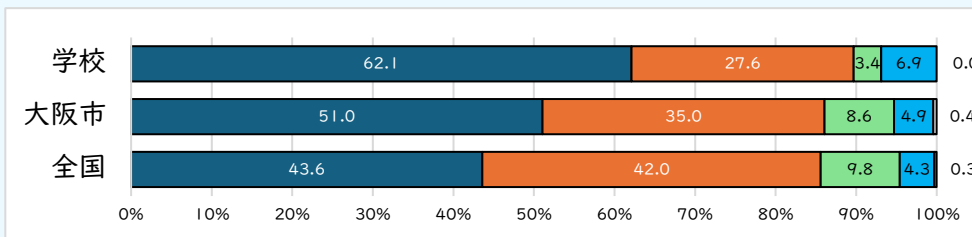
令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より（1）

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号 質問事項

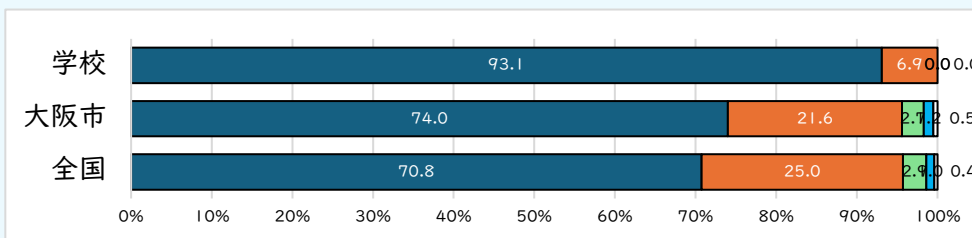
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(8) 自分には、よいところがあると思いますか



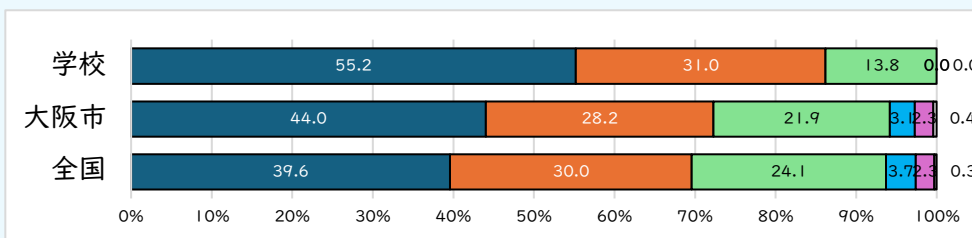
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(14) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか



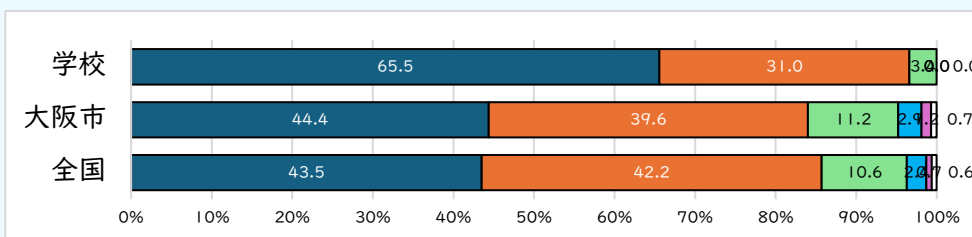
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(20) あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか



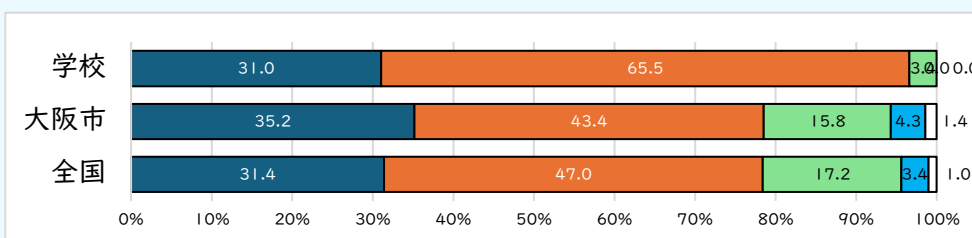
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらともいえない
4 どちらかといえば、当てはまらない
5 当てはまらない

(42) 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない

(43) 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

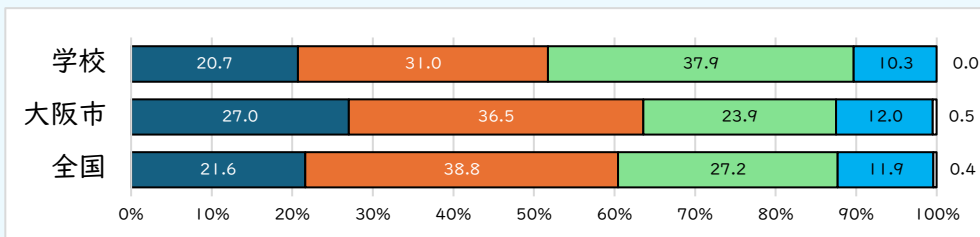
令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より（2）

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号 質問事項

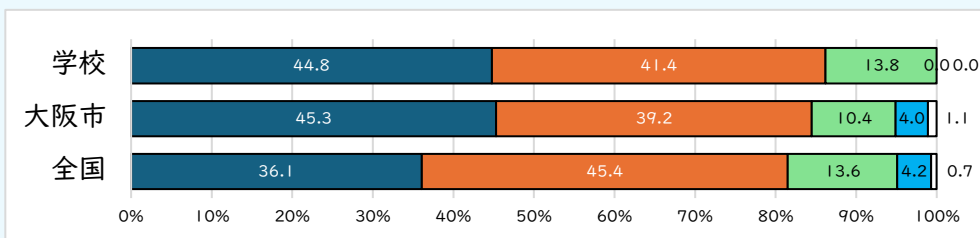
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(52)	国語の勉強は得意ですか
------	-------------



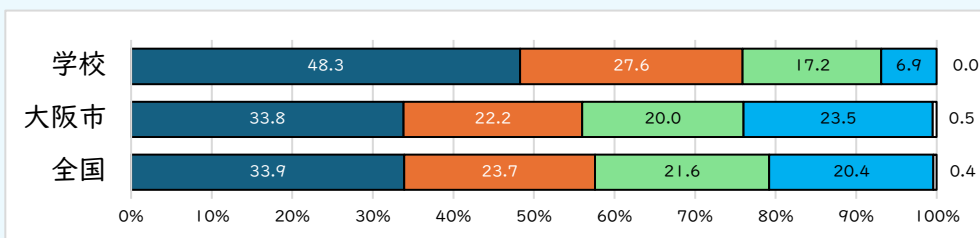
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(54)	国語の授業の内容はよく分かりますか
------	-------------------



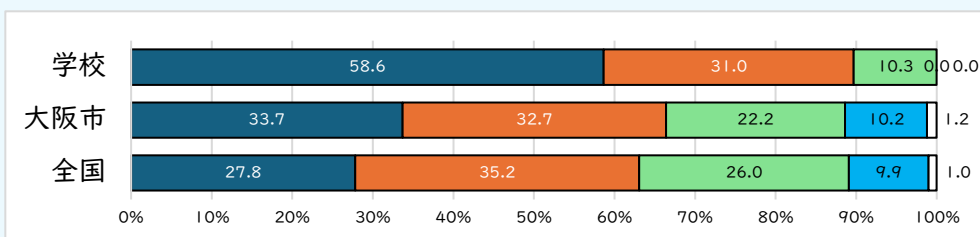
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(61)	算数の勉強は好きですか
------	-------------



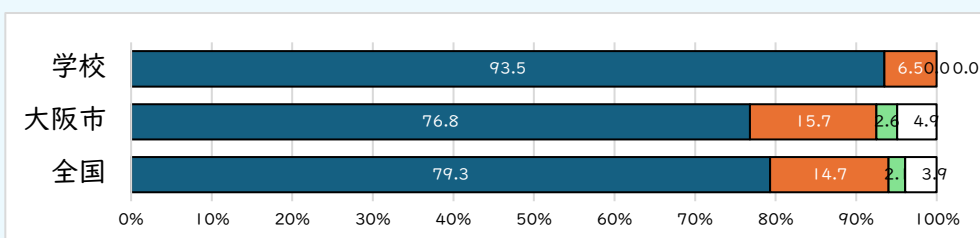
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(66)	5年生までに受けた授業では、算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていましたか
------	--



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(国1)	今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか
------	---



- 1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した
- 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたものがあった
- 3 書く問題は全く解答しなかった

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

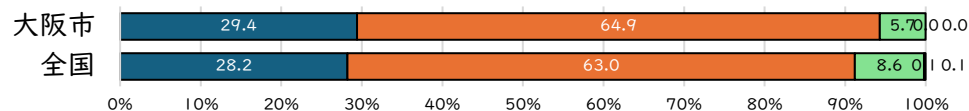
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(31)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習指導において、児童一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか

【学校の回答】 1 よく行った

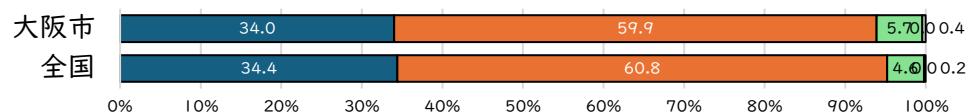


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(32)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習指導において、児童が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか

【学校の回答】 1 よく行った

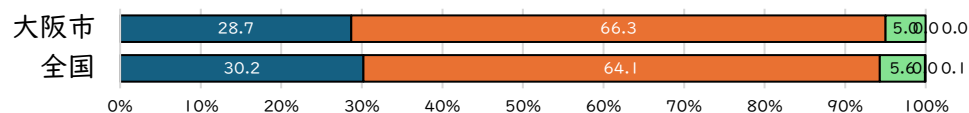


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(47)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書くことができるような指導を行いましたか

【学校の回答】 1 よく行った

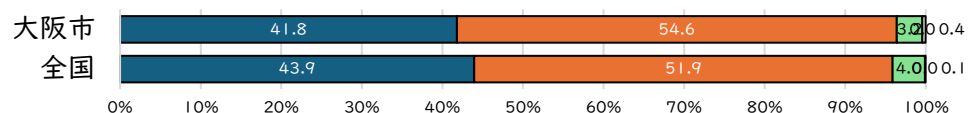


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(51)

調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、問題の答えを求めさせるだけではなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、根拠を明確にして児童に筋道を立てて説明させるような授業を行いましたか

【学校の回答】 1 よく行った

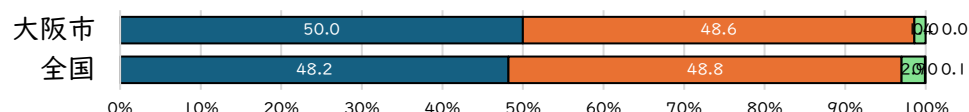


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(52)

調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、授業で、学習上つまづいた児童に対する対応を行っていましたか

【学校の回答】 1 よく行えた



1 よく行えた
2 どちらかといえば、行えた
3 あまり行えなかった
4 全く行えなかった